

中部SLA協会

2004年8月7日 発行

総務委員会 広報部会

# SLA通信

〒460-0024 名古屋市中区正木 1-2-8

(財) シニアルネサンス財団内

TEL 052 332 7883

第31号

## 中部SLA協会の活性化を皆様とともに

中部シニアライフアドバイザー協会

会長 中島 衣 代

今年度は7月半ばから猛暑が続いて居りますが会員の皆様には御健勝にて御活躍の事と存じます。

中部SLA協会も平成16年度の出発が少々遅れましたが、幹事一同、力と心を合わせて一步を踏み出しました。

本年度は、4月に行いました『中部SLA協会の基金についてのアンケート』を基に協会の活性化を皆様と共に考え、指針を出していく年にしたいと思っております。

アンケートの結果は別紙に記載いたしました。現在会員93名中、62名の回答を得ました事に会員の協会に対する関心の深さを感じております。又、協会も今年度は10周年を迎えます。

秋には、会の目的の一つであります情報交換（親睦）の場を企画しております。楽しい、実・味・身のある会になります様、期待しております。

会員皆様のご意見、活動への参加を心からお願い申し上げます。

## 平成16年度の活動予定

月 日	行 事 名
4 月 17 日 (土)	平成16年総会
5 月 8 日 (土)	新旧幹事の引継ぎ・第1回幹事会
6 月 5 日 (土)	第2回幹事会
7 月 3 日 (土)	第3回幹事会
8 月 7 日 (土)	第4回幹事会・31号SLA通信発行・
9 月	第5回幹事会・全体研修会・全国一斉電話相談
10月	第6回幹事会・各部会代表者会議・通信臨時発行
11月	第7回幹事会・10周年の行事・
12月	第8回幹事会・通信臨時発行
17/ 1 月	第9回幹事会
2 月	第10回幹事会・32号SLA通信発行
3 月	第11回幹事会・全国一斉電話相談・シニアアートフェス ティバル協賛・次年度議案書作成

## 協会・研修会のお知らせ

### 1. 全体研修会

日 時・・・・・・ 9月9日(木) 午後1時30分～3時  
場 所・・・・・・ 伏見ライフプラザ12階、集会室  
テ ー マ・・・・・・ 電話相談についての研修

### 2. 創立10周年行事(11月予定)

## 募 集

### 1. 電話相談・・・・・・

新しく電話相談部員を募集します。  
「シニアひとり暮らしの不安と悩み110番」に  
向けて、昨年は中部SLA協会で115件という  
相談を受け相談員も熱心に対応してきました。  
今年も多数の相談員の参加をお願い致します。

### 2. プロジェクトチーム・・・・ 活性化にむけてのプロジェクトチーム募集、 やる気のある方多数参加してみませんか。

各申し込み先・・・・・・会長(中島)まで

Tel&FAX 0561-73-4324

## 新役員の紹介

会 長	中島衣代
副会長	木村利行
研 修	木藤洋子
	青柳よ志子
広 報	小幡淳子
	荒川輝子
渉 外	中島衣代
	木村利行
会 計	青柳よ志子
監 査	加藤 清
	杉浦玲子

今年度の幹事会へのご連絡は、(会長) 中島衣代まで  
〒470-0131 日進市岩崎町岩根210  
TEL/FAX: 0561-73-4324

## 平成16年総会・開催

平成16年4月17日(土)午後1時から、名古屋市中区の伏見ライフプラザにて開催し、出席者23名、委任状41名で会員93名中64名の参加により総会は成立いたしました。先に提出された議案書はすべて承認されました。

前年から継続的な問題として、基金の用途に関するアンケートが実施されましたが、その取りまとめ結果が報告されました。会員各位の意見は、基金を有効活用することに「賛成する」「当分の間は現状維持とする(要検討)」「総意に任せる」に三分され、「反対する」が少数意見となりました。

「反対する」は少数意見であり、全体的には其金活用も視野に“何もしなければ”との思いがうかがわれました。会場からSLAの活性化に向けては「まず、それぞれが行動することが、先決だ」「プロジェクトチームにより具体的な方向性を検討したらどうか」等の意見が出されました。いずれにしても、SLA活動が方向性を見出せず沈滞化している現在、本テーマは今年度の最重要課題としてプロジェクトチーム等による検討も踏まえ、積極的に取り組んでいくこととなりました。

ボランティア保険について「行政から補助がなくなり、従来どおり全員が加入する必要はないのではないか。他の団体で加入している人もいる。」との意見があり、また、電話相談について「弁護士の謝礼が結構かかっており、何か対応策はないか」など意見がありましたが、いずれも今年の課題として検討していくこととなりました。

協会立上げ時から内外の状況は大きく変わる中、中部SLA活動も会員の減少、活動の停滞化等に直面し、“今後のSLA活動のあり方”を問う一つの岐路に立たされています。中部SLAは、今こそ会員相互の連携強化、地域活動との一体化など、会員ひとり一人の思いを結集し、組織全体の活性化を実現していきたいと考えています。

(T・K)

## アンケート結果の分析

### ○中部SLA協会の基金（入会金）も活用等についてのアンケート調査結果

- ・ アンケート実施期間：2004.3～4
- ・ 対象者：中部SLA会員93名
- ・ 回答者：62名

#### 1. 「基金を有効活用すること」について

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| (1) 「賛成する」         | 26名 (42%) |
| (2) 「反対する」         | 3名 (5%)   |
| (3) 「当分、現状維持（要検討）」 | 13名 (22%) |
| (4) 「総意に任せる」       | 20名 (31%) |

#### 2. 「賛成する」の主な理由

- |                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| (1) SLA活動の活性化が図れる。          | 12名 (40%) |
| (2) SLA会員の年齢構成からも今こそ活用すべきだ。 | 12名 (40%) |
| (3) 世代交代（新会員拡大）への呼び水とすべきだ。  | 5名 (17%)  |
| (4) その他                     | 1名 (3%)   |

#### 3. 「反対する」

- |                           |    |
|---------------------------|----|
| (1) 五月雨式に基金が取り崩される恐れがある。  | 1名 |
| (2) 有効活用する前に活性化策がとられていない。 | 3名 |

#### 4. SLA活動活性化の効果的施策について

- |                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| (1) 講演会の開催                     | 5名 (18%)  |
| (2) 研修会の開催                     | 12名 (43%) |
| ・ 会員の意識・知識向上に向けて（各会員の特技も活用）<7> |           |
| ・ 新会員拡大へ向けて<5>                 |           |
| (3) 交流会の開催（部会間交流も）             | 4名 (14%)  |
| (4) その他                        | 7名 (25%)  |

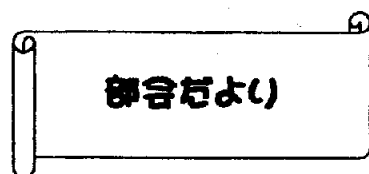
## 5. 中部 SLA 協会の NPO(法人)化について

- ・賛成\_\_\_\_\_ 5名
  - \* 「存在意識が高まる」「時代の流れた」
- ・要検討\_\_\_\_\_ 2名
  - \* 「委員会等で検討し方向性を出すべきだ」
- ・当面は反対\_\_\_\_\_ 5名
  - \* 「先に活動ありきだ」「現状ではメリットがない」

### ☆ 今後の取り組み

「基金の有効活用」については「賛成」が「反対」を大きく上まったが、「要検討」の意見も多く更に有効活用の具体的方法等を明確にしていく必要がある。

また、「NPO化」についても賛否意見は二分しており、「基金の有効活用」と併せて、今後、検討チームを編成するなど引き続き検討していくこととしたい。



## **名北部会**

代表 加藤鈺美

平成16年度第1回例会開催

日時：5月29日(土) AM11:00~PM3:30

場所：SLAサロン 参加者：9名

- 内容
- 1 前年度の活動報告と会計報告
  - 2 平成16年度部会活動に向けての意見交換(部会活動については前向きに検討中)
  - 3 懇親会に先立って、集合場所の鶴舞公園噴水前を全員でスタートし、満開のバラ園や菖蒲池の美しい園内を散策しながら、相互に近況など語り合っ  
て親睦を深める意義あるひと時を過ごしました。また、会の終わり頃には、  
別室(茶室)で全員が木藤洋子さんによる、お手前を体験し、楽しさの中  
に心の引き締まる貴重な緊張感を味わうことができました。

## 尾張部会

代表 大森政文

尾張部会16年度の活動は次の内容で予定しております。

今年の“活動のねらい”は“好奇心をもちあう”とし、産業の現場を訪問見学します。年度中三回の集会を行い、訪問見学先はトヨタ自動車組み立て工場、エーザイ川島工場、くすり博物館、盛田味の館を候補としております。

ほかに予備候補として、産業技術記念館、かがみはら航空宇宙博物館、NTTソリューションスクエアPLA-NET、ネックスプラザ『名古屋高速道路公社』などです。

尾張部会会員以外のかたで参加を希望されるかたは、近日中に郵政公社の50円はがき3枚と50円切手を1枚を下記まで送ってください。計画の都度お知らせします。

参加にかかる費用は自己負担です。

〒483-8118 江南市安良町郷中277 大森政文

## 岐阜部会

代表 尾関恵子

平成16年岐阜部会行事計画 (場所 岐阜ハートフルスクエアG)

前期 (9月まで)

- 1 ネットを広げて生活を楽しもう (募集人数 25名)
  - ① 陶芸 (6月9日 午前10時~12時)  
マイカップを作ろう
  - ② フルート演奏とフットセラピー (7月14日 午前10時~12時)  
癒しのひと時をもとう
  - ③ 手品で楽しもう (8月4日 午前10時~12時)  
手品で皆を楽しませて友達の輪をつくろう
  - ④ 苔玉づくり (9月29日 午前10時~12時)  
苔玉を作って飾りましょう
- 2 第2の人生、パソコンで楽しもう (8回コース (金) 午前10時~12時)  
パソコンを本当の基礎から始めて人生の巾を広げよう (定員20名)
- 3 夏休み! パパと一緒に陶芸にチャレンジ (8月1日募集人数親子15組30名)  
夏休みの1日、お父さんと子供と一緒に作品を作ることによってコミュニケーションを深めよう。
- 4 夏休み! パパと一緒に昔のおもちゃ作り (8月21日募集人数親子15組30名)
- 5 手芸教室 (月 1回 木曜日、一年続ける)  
これは前期分で後期は講座の出席者に呼びかけて講演会、勉強会等、行なう予定。

## 平成 16 年度活動予定

SLA パソコンチーム  
代表 今泉治子

SLA パソコンチームがスタートして3年がたちました。「シニア IT アドバイザー」  
としての活動の場も広がりました。

今年度の私たちは、活動の更なる充実をはかるため、スキルアップに努め、連携  
プレーで前進していきます。

SLA パソコンチームが講師を務める講座の間合わせ：

052-721-2185 今泉

### 会員の情報コーナー

- ☆ 名古屋大学医学部老年科ネットワークシンポジウム  
内容・・・「加齢による心理的变化—うつと痴呆—」(仮題)  
日時・・・9月29日(水)午後6時から7時30分  
会場・・・名古屋大学医学部 鶴友会館大会議室  
入場無料(参加希望の方は油田まで) Tel.052-939-5255

- ☆ 感動的シニアの絵本  
新刊紹介・・・「生きるということ」  
編集・著者・野村 昭子(SLA 3期生)  
推薦者・・・堀田 力(SLA 2期生・さわやか福祉財団)  
山下 可子(SLA 2期生)・・・姑、嫁の、きめ細かな心の絆、地域の  
ぬくもりがいっぱい詰まっています。  
広く皆様に読んで頂くことを心から  
祈念致します。

## 新会員さんのひと言メッセージ

### シニアライフアドバイザーの知名度アップに役立ちたい！

丹羽 一夫

急速に高齢社会が進行している日本では、シニアライフを総合的にサポートする職種は、ほかに見当たらないように思います。

先輩会員各位のご指導とご協力をいただき、大いに活躍したいと考えておりますので、何卒よろしくお願い致します。

そこで、私はシニアライフアドバイザーの存在を、もっと世の中に認知させる必要があると考えて、いろいろな方法で情報発信をはじめました。

- ① 4月に、愛知トヨタ自動車グループの同人誌「小さな足跡」でPRしました。  
「シニアライフアドバイザーへの道」のタイトルで、資格習得を思い立った動機、第一次審査の論文、養成講座のレポート内容、資格習得までのプロセス、シニアライフアドバイザーの役割などの内容を、同人誌「小さな足跡」4月号に投稿して掲載されました。シニアライフアドバイザーのPRになったと思います。
  - ② 5月22日、東郷町国際交流協会の講演で、アピールしました。  
「世界の美術館を訪ねて、旅の魅力を探る！」をテーマに、国際交流協会で講演した最後の締めくくりとして、私のライフワークの話をするように要請されました。  
そこで、シニアアドバイザーとして、高齢者の活性化に役立つための活動を、私のライフワークにしたいと強調しました。
  - ③ 2005年1月、ライフワークに関する本の出版を計画しています。  
「3倍楽しむシニアライフ」(仮称)の題名で、高齢者が元気にシニアライフを送ることが出来る具体例を示した本を、出版する準備を進めています。  
夏までに原稿を完成し、構成やデザインなどを決めて、2005年初めには、丸善から出版したいと準備しています。
- 以上のように、私は機会を見つけて、シニアライフアドバイザーの知名度をアップするために、お役に立ちたいと考えております。

0311013 丹羽 一夫

〒470-0155 愛知郡東郷町白鳥1の9の20 TEL&FAX0561-38-1709



## よろしくご指導の程お願い致します

南 正之

定年と言う終着駅は始発駅でもあるのだ。先へ行くには次の列車に乗り換えなければならない。ひとたび列車から降りれば地位も肩書きも通用しなくなる。過去を引きずってはならない。定年駅で問われるのは「過去の栄光」ではなく、「未来の青写真」すなわち、これから自分はどんな列車に乗り換え、何処に行きたいのかだと思う。

案外、皆さん、現役時代に自分の老後について真剣には考えない人が多いようだ。かく言う私もご多分に漏れずであった。地方銀行を55歳で退き、コンサルタントの職場に転職したが、このとき、自分のライフワークと言うものを真剣に考えた。

私にとってその後のライフプラン講師、金融広報アドバイザー、民生委員とどちらかと言うと中高年者に関わるが多かった。そこで、資格取得を考えシニアライフアドバイザーに挑戦したのである。幸いにして資格認定を受けたので、今後、この道でも何かお役にたてればと願っている。しかし、何をどうすれば良いのかさっぱり判らず、諸先輩のご指導を仰ぐばかりある。

何かと足でまといになろうかと思われませんがよろしくご指導の程お願い致します。

0311033 南 正之

〒516-0066 三重県伊勢市辻久留2丁目5番21号 TEL&FAX 0596-23-4038

## SLA養成講座を終えて

武藤 まさよ

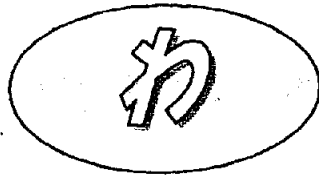
この度、中部SLA協会に入会させていただき大変嬉しく思っています。養成講座を終えて、まず内容の多さに、又、レポートの多さにも驚きました。が、それより受身的勉強方法を想像していた私には、自立を強く求められている即ち、他答自問から自答自問である。この講座に対し自分の意志の再確認が必要でした。

「SLA養成講座」というテーマの元に統一され、展開されたおかげで、線としてつながった気がします。高齢化社会が進むなかで「SLA」の重要性は今後更に増していくように思う。言わば本能として生涯にわたり成長と発達と学習を望み続ける人間にとって「養成講座」は「生きがい」探しと密接に結びついている。そんな「生きがい」探しの一端を的確にお手伝いできる様、研究会、講習会又情報交換、親睦会等に、早く出席出来る日を楽しみにしております。

どうぞ先輩の皆様、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

0311035 武藤まさよ

〒462-0053 名古屋市北区光音寺町1-48 TEL&FAX052-912-6167



油田淑子さんから

### 集えば楽しいSLA

この春亡くなった母の薫陶を受け、三人の妹は皆、留学生の受け入れなど何らかのボランティア活動に携わっています。亡き母は無欲なクリスチャンで、人のお役に立つことを喜びとする人でした。娘4人の子育て中も、知恵遅れや、聴覚障害など子供の世話をし、私たち姉妹が大学を卒業したころには、家を解放し、「働く少年のおばさんの家」として、集団就職で故郷を離れた青少年の相談に乗り、家庭的な雰囲気を楽しませたりしていました。誰に強制されたわけではなく、自発的に、愉しそうに、しかもさりげなく活動する母の姿は私達のお手本でした。ところが、私どもは気持ちだけが先立ってしまうせいか、一所懸命やればやるほど「何か下心があるのでは」などと誤解され、悩むことの多い日々です。

老後お役にたつことがあればという軽い気持ちで入ったSLAですが、活力溢れた協会の活動に参加するのは楽しみでした。しかし、あまり熱をいれると要らぬ憶測をされかねないと、消極的なまま10年が経ちました。

ここ数年、会員数が減るばかりで、かつての協会の活力は何処にと寂しい思いが募ります。魅力的なメンバーも多いので、何とか活力を取り戻せたらと考えてきました。そんな折、前号で杉浦さん紹介のパソコン教室を知り、こうした自主活動がSLAの活性化に繋がればという思いから、参加することにしました。

パソコン教室は今泉さんはじめ4名のSLA指導者の力量も素晴らしく、シニアに最適な指導方法を工夫されているため、生徒一同の輪もでき人数も増えて、温かな笑い声の絶えない、期待通りのサロンとなってきています。

杉浦さんから提供されたこの部屋を、お茶の会でも、自分史研究でも、何かの同好会にでも、大いに活用させていただきませんか。様々な自主活動の中で、触れ合い、情報交換する中から、活性化のアイデアも自ずと浮かんでくるでしょうし、実行の力も湧くのではないかと夢が膨らんできたところです。

次は野村喜美子さんにバトンタッチさせていただきます。

油田淑子

加藤鋳美さんから

## “東山グリーンウェイ”

昨年9月より「東山グリーンウェイ」のみどりのネットワークづくりのボランティア「街路樹愛護会」に参加して、月2回清掃活動をしております。

「東山グリーンウェイ」って？ 初めてこのことばを耳にされた方も多いと思いますがこれは名古屋市緑政土木局が、「愛・地球博」開催に備え、広小路沿線を市民・企業・行政の関係機関によるパートナーシップにより緑あふれる快適な空間づくりの計画を進めているものです。東山公園から東名名古屋インターをつなぐ重要な道路であり、また、2005年に開かれる万博会場にアクセスする道路でもあります。

名東区打越し交差点から上社JCTまでの市道の両側歩道の植木根元等の除草、箒と金バサミ等による清掃です。

この活動を始めて9ヶ月余り経ちますが、作業を通して改めて強く感じたことがあります。それは、遠目には美しい街路と思っていたのが、間近に見るとこんなにもひどく汚れた街路であったのかと目を疑いたくなる程であったことです。場所によってはまるでゴミ捨て場です。(他の道路でも大同小異であろうと思いますが……。)

しかし、これが最近では見違える程ゴミの質量ともに少なくなったように思います。作業しているわれわれは殆どが中高年齢者。作業の安全と環境美化へのアピールも兼ねて、遠くからでも目立つように緑の作業帽に緑の腕章でせっせと働く姿。通行人や通行車両、付近の人々に少なからず影響を与え、ひとつの刺激になっていることは確かであろうと思いい、大げさな言い方ですがこれらの活動を通して社会のマナー、道徳心の向上に少しでも役立つならばと黙々と清掃活動を続けています。

次回は 畑島美奈子さんをお願いいたします。

加藤鋳美

---

### 編集後記

幹事として2年目に入り、パソコンの知識が殆どない私が、広報を担当することになり、「ケセラセラなるようになる」の歌の文句の気持ちで引き受け、ご心配をお掛けいたしました。皆様のご協力を得て無事発行することが出来ました。

ありがとうございました。

32号もどうか、ご協力の程よろしくお願い致します。

(J・O)

平成16年度年会費納入のお願い  
まだ、未納のかたは下記宛へ振り込みをお願いします。

振込先	UFJ銀行笹島支店
口座番号	普通：1411404
口座名	中部シニアライフアドバイザー協会
年会費	3000円

